

安全運転教習車

訓練用設備の紹介

～安全・安心・信頼をお客様へ届けるために～

長崎自動車株式会社

(安全教育センター)



名もなき一日を走る。

長崎バス



安全運転教習車の特徴

ポイント1, 運転者自身の気づきと改善をサポート

バス運転者に求められる的確な「確認」「判断」「動作」の状況や車両の揺れ等を客観的データで記録し省みること、運転者自身の癖(改善すべき点)を把握させることができ、効果的かつ納得のいく運転者指導につなげられます。

車両動揺・走行データ計測



デジタルタコグラフ内蔵型ドライブレコーダー

YAZAC-eye3T

走行中の各種データ・車両の揺れをリアルタイムで表示・記録できます。

アイマークレコーダ



運転者の視点の動きや停留状況から、運転中やドア操作時に適切な安全確認が来ているか表示します。

教習ソフト

モニタリング停止 | 保存 | 保存先を開く | 設定(保存先)

車載機接続中 教習ソフト Ver.1.02.0001

0.5 ↑(前方向)
0.25
0.0
0.25 ↓(後方向)
0.5 ←(左方向) 0.25 0.0 0.25 (右方向)→0.5
傾度:少 傾度:多

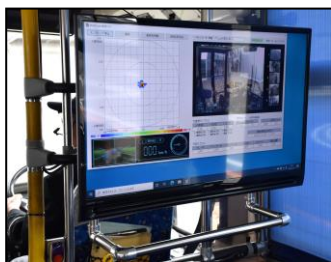
加速センサ(G)
X[前後] Y[左右] Z[上下]
-0.04 0.07 0.06
+ : 車両前方向 + : 車両右方向 + : 車両上方向
- : 車両後方向 - : 車両左方向 - : 車両下方向

車両センサ ※赤字最高値
速度[km/h] エンジン回転[rpm]
47 47 950 1450

外部入力CH
ブレーキ ウィンカー右 ウィンカー左
OFF OFF OFF

30 FAST 130
59.3
SPL (Unit: dB) Data Analysis
0 80 40 2
dB BANDICAM

車内モニター



運転席後部のモニターで、リアルタイムでの車両動揺や車内外の様子、運転者の視線動向の確認ができます。

マイク音量計



運転者のアナウンスが、車内に効果的に伝わる音量かどうか計測し、dB(デシベル)表示します。

ポイント2, 教習の安全確保

長崎バスの路線は狭隘路や坂道、路面電車の存在など大型車経験の未熟な教習生にはきびしい訓練環境ですが、指導員用補助ブレーキや補助ミラーを搭載することで、走行訓練をより安全に行うことが可能となります。

補助ブレーキ・ミラー



ポイント3, 確認用機材の充実

車内外の乗客や歩行者等を想定した、動きや光を伴う確認用ツールを搭載。運転者が確認すべきタイミングでそれらのターゲットを作動させることにより、今まで診断が難しかった確認動作の適切さを、アイマークレコーダの視線測定と併せ、安全確実に判定することが可能になります。

車外確認装置



車両直前LED (白・青)

車体側面LED (白・青)

車内確認装置



前ドアアポロ

車内立客フラグ (通路前方・後方)



中ドアステップLED (白・青)